

経営者のための生命保険講座 第49回

今回のテーマ

医療保障について



今回は、非常に人気の高い医療保障分野について考えてみましょう。
生命保険の入院特約や医療保険についてのメリットとデメリットはいかに？

* 医療保障の中味！

まず最初に、医療保障の内容をしっかりと捉えておきましょう。
それぞれの条件を整理すると概ね下図のようにまとめられます。

ポイント1：保障期間は？

歳満了	60歳まで、70歳まで、80歳まで など年齢で保障期間を決めます
年満了	10年間、20年間 など年数で保障期間を決めます。一般に更新可能です。
終身	言葉のとおり、一生涯を保障します。

*保障の期間を長くするほど、保険料は高くなっていきます。

ポイント2：支払対象の入院は？

1泊2日型	病気・ケガともに2日以上入院で1日目から保障
5日型	病気・ケガともに5日以上入院で5日目から保障
8日型	病気入院8日以上で/ケガ入院5日以上で それぞれ1日目から保障

*短期間からの支払条件とするほど、保険料は高くなっていきます。

ポイント3：支払限度は？

1回の入院支払限度	120日、180日、360日、700日、1,000日など
通算の入院支払限度	700日、730日、1,000日など

*支払限度を長期間にするほど、保険料は高くなっていきます。

これらが組み合わせられて、保障限度が設定されています。

これらの保障は、医療保険単体でも、また死亡保障の特約としても付けることができます
ご自身のニーズ 環境に合った合理的な入院保障を上手に選びましょう。

今回は、人気の高い医療保障分野を取り上げてみました。
実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。
生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。
具体的なお相談に応じますので、お気軽にお声をかけてみてください。



担当 渋谷 洋子